

[アーカイブ版]

12 月生・論文リスタート生向け 2月以降のスケジュールと ポイント

平林 2023.1/24(火)

【本日の内容】

はじめに ～8月論文に向けて必要な手続～

※論文リスタート生の場合 出願2/6～2/27 (12月合格者は不要)

I 2月以降のスケジュール

- 1 参考：2021/2022 本試験素点情報 p.3
- 2 12→8の場合 スケジュール例とポイント 2-5月 p.4
- 3 論文リスタート生の場合 スケジュール例とポイント 2-5月 p.6

II 学習のポイント p.9

- 1 テキストの理解・想起 p.10-14
- 2 得点に繋げる(ピーク合わせ/時間配分/やらかし対策) p.15-18
- 3 定期的にフィードバックを受ける p.19

III 各種サポートについて p.20

別途配付資料 失敗談とおすすめの学習法 Vol.1・2

テキスト写真集 Vol.1

はじめに ～ 8月論文に向けて必要な手続～

- 論文初年度生の場合 論文対策講義登録
通学生・・・**会員証書替・登録手続が必要。**
通信生・・・自動で登録。

論文対策講義（以下、論対）のうち、論文初年度生も4月末までに視聴推奨

- ・ 関西 管理会計論 岡本講師（理解強化のため）
- ・ 関西 監査論 岡田講師 特に前半（理解強化のため）
- ・ 企業法 宮内講師の論対のまず初回（ガイダンスとして）

その他の論対・・・関東関西共に、過去問演習が中心。主に論文過年度生向け。基礎答練では超上位だが本試験での応用力が足りない過年度生には適合する。答練の準備・受験・復習を丁寧に行った上で、さらに余裕があるなら受講。初年度生が受けるなら、初回を本試験に向けたガイダンスとして受けるか、5月や7月末など（アクセス・答練が少ない時期に、初見の問題として）。

- **【重要！】論文リスタート生の場合**
令和5年第Ⅱ回本試験出願時に出願手続
ネット出願：2/6 - 2/27

1 2月合格者の場合は、出願手続不要。
8月論文時も、1 2月短答時の受験票を持って行く。

5月短答を受ける場合

- ・ 2月中旬～下旬にかけて、短答各科目1回ずつ短答フォロー講義有り。
- ・ 3月下旬から5月短答向け短答直前答練3回＋全国模試一回有り。

参照：Web School「講座からのお知らせ」欄

12/8 付「12月短答式試験終了後 受講カリキュラムについてのご案内」

1 参考：2021/22 本試験素点情報 素点 1 点で偏差値がどれだけ動くか？（開示答案から分析）

令和 3 年（2021）

令和 4 年（2022）

2022.3.23時点					
科目	大問番号	偏差値 4 0 素点目安	偏差値 5 0 素点目安	偏差値 5 2 素点目安	偏差値 5 6 素点目安
監査論	第 1 問	10	15.5-16.5	17.5-18.5	19.5-20.5
	第 2 問	11	17	18	20.5-21.5
租税法	第 1 問	10-12	16	17	19.5-20.5
	第 2 問	11-12	22	23-24	27
会計学 午前 (管理会計論)	第 1 問	14-16	23	25	27-28
	第 2 問※	2	8	9.5	11.5
会計学 午後 (財務会計論)	第 3 問	16-17	25	27	30-31
	第 4 問	29	37-39	38-40	43-45
	第 5 問	15-16	26-27	28-30	34-36
企業法	第 1 問	5	15.5-16.5	17.5-18.5	19.5-22.5
	第 2 問	2-4	12-13	14.5-18	19-21
経営学	第 1 問	17-21.5	25-28	26-29.5	29-31
	第 2 問	15-16	21-22	22	25
統計学	第 1 問	31	40	41	47
	第 2 問	-	30-32	31-33	-
経済学	第 1 問	-	-	-	42で偏差値60
	第 2 問	-	-	-	43で偏差値58
民法	第 1 問	-	-	-	-
	第 2 問	-	-	-	-

※会計学第 2 問 素点 8 点→ 偏差値50
素点 7 点→ 偏差値48
素点 6 点→ 偏差値46
素点 5 点→ 偏差値44.8

2022.12.20時点					
科目	大問番号	偏差値 4 0 素点目安	偏差値 5 0 素点目安	偏差値 5 2 素点目安	偏差値 5 6 素点目安
監査論	第 1 問	9-13	14-15	15	17-23
	第 2 問	4	13-14	14	20
租税法	第 1 問	11	17	18	21
	第 2 問	20	29-30	32	36-37
会計学 午前 (管理会計論)	第 1 問	15-16	23	24-25	27-28
	第 2 問※	5-6	10-11	12	14
会計学 午後 (財務会計論)	第 3 問	32	40-41	41-42	46
	第 4 問	16-17	24	26	29
	第 5 問	16-17	26-27	29	33-34
企業法	第 1 問	7-8	15-16	19	20-22
	第 2 問	4-5	13	14	20
経営学	第 1 問	22	30	33	35-36
	第 2 問	15-16	23-24	25	29
統計学	第 1 問	23			39-40
	第 2 問				
経済学	第 1 問				
	第 2 問				
民法	第 1 問				
	第 2 問				

※会計学第 2 問 素点10.5点→ 偏差値49.2
素点 9 点→ 偏差値46.2
素点 8 点→ 偏差値44.4
素点 7 点→ 偏差値42.4
素点 4 点→ 偏差値36.6

2 1 2→8 の場合 スケジュール例とポイント 2・3 月

●・・・3 月末までに実施/○・・・4 月模試前までに実施/下線・・・5 8 生との相違点※以下、答練日程は日吉校を参考に記載

		ポイント
2 月	●財計・管理 論文アクセス（管理は理論部分含む）4 月頭にかけて全 1 0 回 ●財計 論文基礎答練（2/6、2/13、2/27） ●管理 論文基礎答練（2/7、2/21、2/27） ●監査論 論文基礎答練※テキスト参照可（2/9、2/23、3/9） ●企業法論文基礎答練 ※テキスト参照可（2/9、2/17、2/24、3/10） 2/10-租税アクセス ○租税法基礎答練(3/15, 3/29, 4/5) ○経営学基礎答練(新宿が 2 月下旬以降)	不足している力を分析。財理と租税（特に法人税①）は毎日取り組む。 理論科目について、納得感を重視。丸暗記を減らす。 租税経営の講義消化・例題・トレーニング復習など。 ★計算が苦手な場合、2 月頭には固めたい。 ★企業法と租税法の答練は、どうしても詰まったらテキスト参照可。ずらさず受ける。 監査論も参照可（ポイントだけでも説明できるようにしてほしいが）。財理は×、覚え始める。 ★財務理論のテキスト理解が不足している場合、4 月頭までであれば、講義を倍速で見直してもよい（p.10）。理解強化のため、管理・・・関西 岡本講師 管理会計 論対前半を受講。 監査論・・・テキストチェックゼミ初回と岡田講師論文対策講義前半を受講。
3 月	○監査論 論文応用答練(3/23、4/6) ○企業法・論文応用答練(3/17、3/31) ○財計 論文応用答練（3/13、3/27） ○管理 論文応用答練（3/21、3/22）	論文の回転下準備を済ませていく。 答練範囲に合わせ、理解強化・覚えるべき知識の特定・強調。 ★企業法はまず理解・精読・組み立て方を知る。論証例の暗記は4 月模試前から少しずつなど（5 8 生は 5 月短答以降）

各科目のポイント・・・12/13 論文学習法セミナーレジュメ参照

論文答練を受ける前に、各科目、答案作成ポイント講義を受講（Web School 配信）

企業法論文答練・・・全国模試以外はテキスト参照可（監査論も OK。財理は見ないで取り組む）。スタート 10 分は自力で頑張る。復習時は分析。

①テキストを見ないで書けた箇所 ②見たら書けた箇所(4 月模試前から少しずつ覚え始める ③見ても書けなかった箇所（理解不足・読み取りや組立て△等）

1 2→8 の場合 スケジュール例とポイント 4・5 月

●・・・3 月末までに実施/○・・・4 月模試までに実施/下線・・・5 8 生との相違点※以下、答練日程は日吉校を参考に記載

		ポイント
4 月	租税法応用答練(4/12, 4/19) 経営学応用答練(4 月以降) 4/25-27 頃 論文全国模試 1	財理・監査論・企業法は、答練の出題範囲にまだなっていなかった章の回転下準備も済ませる。 3 月末までに固めたテキストの理解を土台として、 4 月模試に向けて 1 周 + α 回転する。 範囲指定がなくなるため、まずは 全大問で凹みをならす 意識。
5 月	理論補強答練 2 回ずつ（管理以外）	インプット強化のため、未受講分があれば、論対 関西 管理岡本講師・監査論岡田講師 受講。 アウトプット強化のため、企業法論対 未受講分やテキストチェックゼミ受講など。 これまでのアクセスや答練の復習。 初見の計算問題として、財務計算の論文対策講義、管理会計の論文対策講義を数回使ってもよい。

12月短答以降スケジュール目安

12月	Input 強化	Output 強化	★4月までのアクセス・答練は、出題範囲有。 5月短答生も計算力アップ・理解強化のため適宜活用。	論文アクセス	論文答練	★全科目、テキストを大事に。納得感を持てるか。 テキストを閉じて、想起・説明できるか。 財理は2～6章など受け直してもOK。 ★4月までのアクセス・答練は、 範囲指定あり 。 準備して受験し、インプット・アウトプット双方強化。
1月						
2月	テキストの内容・基礎的な概念を理解し、口頭で説明できる状態に。 初年度生も、租税法以外の論文対策講義を適宜活用（ゼロ円登録）。	Outputを通じて、Inputの穴を探す。足りない力を分析。		財務 計算 管理会計論 論文アクセス 前半10回	基礎答練 3回 (企業法は4回) ★問題文の読み取り、問への素直な答え方を身に付ける	
3月	上級生は、インプット強化にWeb論点別講義を活用。 (財理・監査論は全て受け直してもOK)	問題文の読み取りと素直な答え方、部分点の取り方等を身に付ける。		2月頃 租税法 アクセス (先取りアクセス調整中)	応用答練 2回 ★応用的な問題での部分点の取り方、時間配分の練習等	【5月短答を受験する場合】 5月短答・8月論文ネット出願 3月末までは、理屈重視。 状況に応じて論文アクセスなど活用。 4月に入ったら、論述対策や、租税法・選択科目はストップ。 短答知識暗記。 状況別のスケジュールについては12/12(月)セミナーで詳述。
4月		各種アクセス/答練のほか、3月末にかけて管理・監査論テキストチェックゼミや論文対策講義を活用。 (気になる科目はガイダンスとして各1回目冒頭を受講)				【5月短答を受験する場合】 3月末までは理屈重視 4月頃～ 回転期(短答向けの知識暗記) 3月後半 5月短答向け 短答直前答練1 4月頭 直前答練2(照準を合わせる) 5月頭 短答全国模試 5月2週目頃 直前答練3
5月				4月末 論文公開模試 第1回 (5月短答生は短答後に活用)		
6月		正確性・スピード強化。		理論補強答練1・2 (5月短答生は短答後に活用)		全科目、 満足水準まで持っていけるか？
7月				5/28(日)5月短答式試験		
8月				論文直前講義 各1回 財計・管理・租税計算アクセス後半 論文直前答練1・2		
				6月末 論文公開模試 第2回 論文直前答練 3(監査企業のみ4回目あり)		
				回転期 インプット詰め&アウトプット力維持/強化 会计学計算・・・2週間以内に論点1周、 その他は7日～2週間以内に論点1周、暗記は毎日など。		
				8/18- 論文式試験		

3 論文リスタート生の場合 スケジュール例とポイント 2・3 月

●3 月頭までに実施/○…4 月頭までに実施/紫・下線・取消線は 1 2 月生との相違点※以下、答練日程は日吉校を参考に記載

		ポイント
2 月	●財計・管理 論文アクセス（管理は理論部分含む）4 月頭にかけて全 1 0 回 ●財計 論文基礎答練（2/6、2/13、2/27） ●管理 論文基礎答練（2/7、2/21、2/27） ●監査論 論文基礎答練※テキスト参照可（2/9、2/23、3/9） ●企業法論文基礎答練（※テキスト参照△）（2/9、2/17、2/24、3/10） 2/10-租税アクセス ○租税法基礎答練（3/15、3/29、4/5） ○経営学基礎答練（新宿が 2 月下旬以降）	不足している力を分析。財理と租税（特に法人税①）は毎日取り組む。 理論科目について、納得感を重視。丸暗記を減らす。3 月末にかけて、 <u>財理は Web 論点別講義を全て見直しても OK。特に、2－6 章。</u> 租税経営の講義消化・例題・トレーニング復習など。 ★計算が苦手な場合 2 月頭には固めたい。<u>基礎答練が余裕で A 判定であれば、関東論対活用検討。</u> <u>★管理会計論文テキストチェックゼミに、最低 1 度は丁寧に準備してパネリストとして参加。</u> ★企業法と租税法の答練は、どうしても詰まったらテキスト参照可。—ずらさず受ける。 監査論も参照可（ポイントだけでも説明できるようにしてほしいが）。—財理は×、覚え始める。 ★財務理論のテキスト理解が不足している場合、4 月頭頃までであれば、講義を倍速で見直してもよい(p.10)。 理解強化のため、管理…関西 岡本講師 管理会計 論対前半を受講。 監査論…テキストチェックゼミ<u>初回</u>と論文対策講義前半を受講。
3 月	○監査論 論文応用答練（3/23、4/6） ○企業法・論文応用答練（3/17、3/31） ○財計 論文応用答練（3/13、3/27） ○管理 論文応用答練（3/21、3/22）	論文の回転下準備を済ませていく。 答練範囲に合わせ、理解強化・覚えるべき知識の特定・強調。 ★企業法はまず<u>理解・精読・組み立て方を知る</u>。論証例の暗記は 4 月模試前に少しずつなど

11 月末実施 論文リスタートホームルームと、岡本講師 論文管理会計論セミナー視聴（Web School「講座からのお知らせ」欄アーカイブページ）

各科目のポイント…12/13 論文学習法セミナーレジュメ参照

論文答練を受ける前に、各科目、答案作成ポイント講義を受講（Web School 配信）

3 論文リスタート生の場合 スケジュール例とポイント 4・5 月

紫・下線・取消線は 1 2 月生との相違点※以下、答練日程は日吉校を参考に記載

		ポイント
4 月	租税法応用答練(4/12, 4/19) 経営学応用答練(4 月以降) 4/25-27 頃 論文全国模試 1	財理・監査論・企業法は、答練の出題範囲にまだなっていなかった章の回転下準備も済ませる。 3 月末までに固めたテキストの理解を土台として、 4 月模試に向けて 1 周 + α 回転する。 範囲指定がなくなるため、まずは全大問で凹みをならす意識。 <u>守り切った上で、上位を目指す。</u>
5 月	理論補強答練 2 回ずつ（管理以外）	インプット強化のため、未受講分があれば、論対 関西 管理岡本講師・監査論岡田講師 受講。 アウトプット強化のため、企業法論対 未受講分やテキストチェックゼミ受講など。 これまでのアクセスや答練の復習。 初見の計算問題として、財務計算の論文対策講義、管理会計の論文対策講義を数回使ってもよい。

Ⅱ 学習のポイント

まずは、自分に今不足している力を分析。

テキストの理解・想起

得点に繋げる(ピーク合わせ/時間配分/やらかし対策)

これまでの教材で、どんな積み残しがあるか書き出す。

1 2 月生の場合 短答式試験 難易度 A の正解状況
論文リスタート生の場合 本試験の大問ごとの偏差値・素点

財務計算のパワーアップ問題は、ぜひ活用する。

Web School「教材」

論文式試験 必要な力[全般](大部分は短答対策と共通)

Input面

★ テキストや問題を形式的に何度も「回転」するのではなく、
その時々で「どんな力を伸ばすか？」目的を持って取り組む。

- テキストについて、理解している(比較ができる、具体例が説明できる)。
- テキストを閉じた状態で、基本的な内容を想起・説明できる。

★ 「知っている」「見ればわかる」では足りない。
問題を解いた後、「テキストの周辺論点」まで想起できるかを意識。

Output面

- 問題文を読み、テキストのうち、どこが問われているか掴める。
★ アウトプットを通じて、テキストのインプットの穴発見。
- 問題に対して、素直に「過不足なく」答えられる。
- 基準集が使える(監査論、租税法、財務理論、企業法)。
- 得点に繋がられる。(試験前のピーク合わせ、時間配分・難易度の読み取り、読み飛ばしなどのやらかしミス対策、部分点獲得等)

1 テキストの理解・想起（2～3月）

(1) テキストの理解

3月末頃までに目指す状態

- ◎ 理論科目について、規定の理屈について**納得感**がある。
- ◎ 複数論点で、**比較ができる**。共通点・相違点が説明できる。
- ◎ **具体例**が挙げられる。

理解強化のため、管理・・・岡本講師論文対策講義

監査論・・・岡田講師論文対策講義 を活用。

★財務理論のテキスト 2－6章は倍速で受け直し、今のうちに
会計理論の基礎的な考え方を再確認した方がよい。

特に、5章 p.39～6章の p.55 資産会計総論 費用配分の原則。

財務理論・監査論 LINE オープンチャットの、ノート・質問回答活用。

参加方法：Web School「講座からのお知らせ」欄

(2) テキストの想起

△テキストや解説を「見ればわかる」

◎テキストを想起し、本試験中に「使える」状態

★重要な箇所を覚え切るためには、メリハリが必要。

参考：合格者の失敗談・テキスト写真集

(付箋/問題集からテキストへマーク/重要度を意識)

○様々なアウトプット教材を用いて、理解不足や、想起できない穴を探す。

★論文問題集や答練以外に、下記をアウトプット教材として活用。

財務理論 テキスト章扉「word」

監査論テキスト節扉「重要コンセプト」「学習上のポイント」

各科目テキスト目次

テキストチェックゼミ PDF/動画 (財務計算・管理・監査論)

※Web School「講座からのお知らせ」アーカイブページ

2022年12/12(月)短答後セミナー 今後のスケジュールとポイント 21

【受講生参加型オンラインイベント】
テキストチェックゼミ (管理) 12/22~3月頃 木曜夜実施、監査論 1月~3月頃 日曜夜実施)

TAC 公認会計士講座
オンライン開催
管理会計論 テキストチェックゼミ
安達直輝 講師 担当
2023年合格目標 各種本科生対象

管理会計論 安達講師
twitter@nao_tac
(新着収録/日吉校担当)

Q、
※材料費の計算が迅速化される。
※材料元価の計算・配賦事務が簡略化される。
この違いは何ですか？同じことを言っていますか？

全て19~21時で実施
12/22(木)費目別
12/28(水)製造間接費配賦~部門別★この日は水曜日実施のため注意
1/12(木)個別
1/19(木)総合
1/26(木)標準
2/2(木)直接・原価計算総論
2/9(木)原価計算 総復習

「問題」をおさえるのではなく、
論点・処理のパターン分け等が
体系的に整理できているか？
テキストの内容が、適切に想起できるか？
テキスト内容をゼミ形式でチェックする。
主に、管理会計が苦手な論文リスタート生向け。

TAC 公認会計士講座
オンラインにて実施
監査論 テキストチェックゼミ
岡田健司 講師 担当
2023年合格目標 各種本科生対象
(実施時期：1月~3月頃)

監査論 岡田講師
twitter@okadaka_tac
(論文対策講義 聞き収録担当)

【アーカイブ配信済 財務計算テキストチェックゼミ】

TAC 公認会計士講座
オンライン開催
財務計算 テキストチェックゼミ
藤野 講師 担当
2023年合格目標 各種本科生対象
(聞き収録/日吉校担当)

財務計算 藤野講師
twitter@shin_fujino
(成績相談/日吉校担当)

Q
間接法によるCFにおいて調整する営業外損益・特別損益について、「小計欄以降のCFに帰する」営業外損益・特別損益とされる。そこで、PL上は営業外損益または特別損益に計上されるが、間接法によるCF上における営業活動によるCFで調整されない項目をあげてください。

23目標Webschool「講座からのお知らせ」に、
23目標財務のアーカイブ有り。
処理のパターン分け想起・整理に有用と感じたら、
アーカイブのレジュメや動画、音声データを活用。
【注】別途、実際に問題演習の時間を確保。

【論文直前期に向けた回転下準備(全国模試 1 前までに実施)】

- ①[企業法以外]論文問題集からテキスト周辺を想起（まずは論点のページ見開きの位置から）
- ②テキストにマーク（直前期に強弱を付けて覚える）・
- ③周辺テキストを確認。理解不足やその他の重要な箇所を復習

参照：配付資料 合格者テキスト写真集

イメージ：受験上もリスクアプローチを意識する。

まずはリスク評価（出やすい所・出方を把握）



リスクの高低に応じて、強弱を付けて暗記など注力。

× 重要性の高い論点だけ取り組む

○ 重要性が相対的に低い論点は、分析的手続（出た場合にどこまでは押さえるか対応を決める、最低限の理解など）は取り組むなど。これまで「切って」いた論点については、（重要度を意識しつつ）3 月末まではできるだけ回復。

【重要】アウトプット時のポイント 全科目共通

- 1 問題を解く（解けなかった重要な箇所は、原因分析）



- 2 テキストの周辺知識まで想起できるか？



- 3 想起や理解に大きな漏れがないか、

テキスト周辺論点確認

参考：1 2 月末実施企業法/監査論 Q&A 宮内講師・岡田講師の回答共有

(Web School「教材」欄)

【論文向け】

3 月までに、財理の各章の論文論点をまず一通り確認。**回転下準備。**

答練出題範囲について、論文重要度「★」の数に応じて

理解/何度も想起(納得感を大事に、丸暗記を減らす)。

重要度★★★…できるだけ専門用語を使って理屈が丁寧に説明できる。

★★ …相手に伝わるレベルで、要点が説明できる。

[イメージ]将来経理部の方に処理の理屈を聞かれた際に、

一言でなんと説明するか？

8 月論文時

◎テキストを思い出して、論文で重要な論点を「説明できる」状態。

◎覚えていない箇所や知らない話が問われても、テキストの関連分野基礎知識を用いて 2 行ほど答えられる状態(部分点を取る練習。応用答練などで練習)

参考：各科目の答案作成ポイント講義

Web School「教材」欄…12/13 配信論文学習法セミナー・財理論文学習法
レジュメ・財理重要概念一覧(短答前からある程度覚えるべき重要な概念)
監査論…岡田講師 論文対策講義初回など

徐々に、基準集が使える状態にしていく。(監査論/租税法/財務理論/企業法)

【ポイント】論文時には、細かい短答の知識暗記は不要となる。

例：金利スワップ特例処理が使えるための条件…基準集に記載有り。

Q. 基準集を購入するタイミングは？

→2 月以降で ok。

前年度のものを持っている場合、租税/監査は買い直す見込み。別途案内。

財理は 4 月には TAC からプレゼント予定だが、少し先になるため、古本で早め
に入手しても ok。

ネットで軽く見てみる場合には、会計基準のうち、「結論の背景」から手前は
本試験でも参照可能（定義・計算処理や要件部分など）。

結論の背景から後の**理屈部分**は、【略】とされて読めない。

→重要度を参考にしつつ、**テキストの理屈部分を覚える。**

3 月末までに、金融商品会計に関する会計基準と、収益認識に関する会計基準
はまず見てみる。企業会計原則・連結会計や企業結合・事業分離なども便利。

参考：財理論文学習法レジュメ（Web School「教材」欄）

2 得点に繋げる

(1) ピークを合わせる

一度理解・覚えた知識を、本試験までに新鮮にし直すには？

【目安】

計算や理論科目の【全体点検】

→試験前「10 日～2 週間以内」を意識。

細かい暗記の精度が問われるもの・覚えにくいもの

→試験前「1 週間以内」を意識。

付箋などを活用して、メリハリを付ける。

(2) 時間配分

原因例

○インプット不足

例：処理を間違えて数字が合わず、戻ることが多い。

★テキスト目次やテキストチェックゼミ資料を使った想起学習
を行い、計算処理の**想起スピード**を速くする。まずは正確性。

○アウトプット不足

例：単純に下書きのスピードが遅い。総合問題を解き慣れていない。

→パワーアップ問題（2月頃まで）や論文アクセスの難易度 A 部分を、
制限時間マイナス 10-20 分で解答できるまで何度か練習など。

（単になぞるだけの学習にならないよう、最低2週間空けるなど）

○試験中の難易度の読み取りや見積ができない（特に管理）

解説講義を受講する。岡本講師論対を受講。基本事項を覚え切る。

○数字が合わない場合に、執着してしまう

→答練時、本試験だと思って切り上げを試す。

★**自信が持てる基礎的な論点を増えてくると、
難易度が高い問題に執着しなくなる。**

(3) やらかしを防ぐ工夫

【計算科目 論文でよく何う失敗談】

電卓を打つのが久々で、計算ミス。

同じ問題ばかりずっと解き直しており、
初見で慎重さが不足した。

★論文直前期も、インプット確認・暗記だけでなく、

適宜本試験中の作業プロセス等を意識して、アウトプット練習を行う。

【理論科目 論文でよく何う失敗談】

問題の重要な指示を読み飛ばし、論点ズレした。

◎解く際の行動を詳しく振り返る。

◎内容に応じて具体的な対策を立てる。初見の問題で試す。

その他、大問ごとに偏差値が凹む原因例は
論文学習法セミナーレジュメ p. 30-を参照

やらかしミス 原因と対策例

原因	対策例
①資料の読み飛ばし、 年度・決算日、税率、単位、 四捨五入、償還日・事業 供用日の指示をチェックもれ	マーカーや色ペンを使いながら読む。 (短答・論文共に、問題用紙・下書き用紙には使用可能) ✓マークを資料脇に付す(右端改行付近が読み飛ばしやすい)。 事前にこれまでのやらかしミスまとめ等を振り返る。
②下書きを省略しすぎた	講師の下書きを参考に過不足なく書く。 月割計算がある論点は特に注意。
③自分の下書きの読み間違い	数字ははっきり書く。自習時からB5などに下書きを大きく書く。
④電卓を使わず暗算してミス	極力暗算はしない。月割は指折り数えるなど。
⑤電卓の打ち間違い	打つスピードを緩める(処理を思い出すスピードを速くする)。 ブラインドタッチはしない。特に重要な箇所は、気持ちゆっくり 1・2度電卓を入れるなど。
⑥電卓や資料からの転記ミス	転記時に、ペンで指差し確認。電卓は体の近くで打つ。
⑦指示をチェックしたが、 解いているうちに忘れた	解答中の自分の目の動きを振り返り、目に入る場所を書く。 解答選択直前に、一旦問題用紙・下書き全体を俯瞰。

3 定期的にフィードバックを受ける

よく伺う失敗談

参照：合格者からのメッセージ集

- 完璧主義**に陥ってしまった。
- 重要度の強弱を付ける意識が足りなかった。
- 自己判断で、重要な論点を切ってしまうていた。
- テキストではなく、答練を中心に回していた。
- 過年度答練や他校教材に手を広げて、テキスト暗記やピーク合わせが不足。
- 無理な計画を立て、睡眠時間を削り体調を崩した。
- 答練の実施がずれて投げやりな気持ちになり、放置してしまった。
- 科目の先生と話したことがなく、自分が「理解した気になっている」ことに気づけなかった。特に、理論科目。
- 人と話さず、アウトプット不足→**質問コーナーで講師やチューターに説明**することで、理解が強化されるようになった。
- 論文式試験合格者と話したことがなく、最終的にテキストについてどの程度の理解・想起が必要か、体感できていなかった。

※講師/チューターへの質問/相談時、自己分析した結果や、やろうと考えていること、問題用紙下書き/答案を持参すると効果的。

個別成績・学習方法相談（予約制）だけでなく、定期的に対面/zoom 質問コーナー・相談会等で各科目の講師やチューター・合格者と話す。

自己分析の結果や学習の方向性・優先順位が
大きく誤っていないか、定期的に確認・軌道修正
日々の自習・答練時にも、自己分析・改善を繰り返す。

概ね、各科目月1回は質問へ行っている合格者が多い(特に、理論科目)。

Ⅲ 各種サポートについて

近日中に実施する相談会等

対面相談会 ★相談会日程追加は公式 LINE でお知らせ(p. 19)

1/29(日)水道橋校 14-17 時

平林/藤野/合格者 8 名(58 合格者 2 名)

2/18(土)広島 14-18 時 平林/合格者数名予定

2/19(日)福岡 13-17 時 平林/合格者数名予定

3/11(土)札幌 14-18 時 平林/合格者数名予定

3/12(日)仙台 14-18 時 平林/小野/安達/合格者数名予定

試行運用

2/4(土)9—17 時 zoom 質問ルーム/自習室

【担当講師】 (運営：平林)

財務計算 藤野 9-11 時

監査論 岡田 10-12 時

租税法 東海林 13-15 時

財務計算 竹内 15-17 時

企業法 宮内 15-17 時

その他合格者 10 名待機 (常時 58 合格者 1 名待機)

その他現在確定

2/23(木/祝)9—17 実施 宮内講師 (16-18)

3/5 (日) 9—17 実施 宮内講師(15-17)

3/21(火/祝)9—21 実施 岡田講師(午前) 宮内講師(16-18)

岡本講師(19-21)

zoom のブレイクアウトルーム機能を使って、講師・合格者 1 人対受講生複数の質問コーナーを講師ごと・合格者ごとに設定します。メインルームは自習室とします。

zoom 質問コーナーと操作方法は基本的に同様です。

当日操作方法や何かお困りごとがありましたら、ヘルプボタンで平林が伺います。

LINEオープンチャットを活用した質問対応 【平林 学習法等相談用 財理と分けて新設】

詳細・・・Web School「講座からのお知らせ」欄

お知らせ

26

23目標 財理/監査論質問用 LINEオープンチャット

- テキスト・問題集等内容等に関する質問を、
財理:平林 監査論:岡田講師が承ります。
他の参加者に名前や連絡先が表示されることはありません。

※答練については、ネタバレ防止のため、
質問メール・質問コーナーをご利用ください。

- ★過去の質問/回答について、キーワード検索が可能です。
よくいただく質問は、「ノート」にまとめます(短答向け格納済)。
他の方のご質問で理解が深まることもあるはずです。ご活用ください。

※通知が多いと感じたら、通知をオフにするか、
1度退会・後日質問希望時に再度参加してもOKです。

【参加方法】

23目標
Web School
「講座からのお知らせ」
欄内リンクから接続



下段の
「新しいプロフィールで参加」
ボタンを選択



STEP 1. 参加リクエスト時
以下2つを入力。

- ①TAC会員番号
- ②お名前(フルネーム)

例 ①000000 ②田中花子

※会員番号とお名前フルネームの入力がない場合、
恐れ入りますが、一旦参加リクエストをキャンセルとさせていただきます。
再度、「新しいプロフィールで参加」ボタンから参加リクエストをお願いします。

※申請後、「新しいプロフィールで参加」ボタンが表示される場合、
入力情報不足等により参加リクエストが一旦キャンセルされている状態です。



承認完了まで、
少々お待ちください。

過去の質問や
回答が表示されたら、
参加完了です。

STEP 2.

「ニックネームを入力」

任意のニックネームを入力。
名字推奨。

例 田中
(珍しい名字や匿名希望の場合、
仮名でもok)

※既に他の人に使われている場合、
田中@ 田中・ など記号を追加など

公式 LINE による重要情報通知サービス

公式 LINE で、時期ごとのポイント・セミナー/相談会実施情報・答練出題範囲/講義日程公表等、見逃しがちな重要情報についてお知らせしています。

2 月以降、下記 3 つのアカウントで状況別に配信します。
受け取りたい情報に応じて、選択/友達追加のほど、よろしくお願いいたします。

▼23 目標 論文関連情報 (LINE ID : @23tac_ron)

<https://lin.ee/HNXTlMw>

※論文関連情報についてのみ通知



▼【新設】23 目標 58 目標生向け (LINE ID : @23tac58)

<https://lin.ee/GZRizG1>

※短答/論文双方について、
関連情報を通知



▼23 目標 5 月専念生向け (LINE ID : @23tac_5)

<https://lin.ee/StnmHys>

※5 月まで短答関連情報のみ
通知を受け取りたい方向け



【アカウント以降に伴い、2 月以降 メッセージ配信停止】

- ・短答初年度生向け (LINEID : @23tac)
- ・短答リスタート生向け (LINE ID : @23tac_tan)

質問コーナー・個別相談

● **質問・相談コーナー [校舎/zoom] (予約不要)**

質問コーナー日程表 ▶
(受講生HP「@C.P.A.」)

※日程表内「TA」…合格者チューター

質問コーナー日程表

【zoom質問コーナーへの参加方法】

web school トップページ下段
「zoomを利用した質問・相談コーナーについて」リンクから
待機室へ（ビデオオフでOK。スマホからも接続可能）▶

● **個別成績・学習方法相談 (久野/塚本/平林/蓮尾/藤野) [校舎/zoom]**

毎週土曜日 13時～次週 1週間分をネット予約受付 ▶ <https://tacschool.resv.jp/>

※通常の質問コーナー（予約不要）でも、学習全般の質問を各講師が承ります。

日程表 (受講生HP「@C.P.A.」) ▶

個別成績・学習相談日程

日程： [質問・相談コーナー](#) | [公認会計士](#) | [資格の学校 TAC\[タック\]](#) (tac-school.co.jp)

★専念期間が3年以上などで将来への不安がある場合は、

下記、就職サポートへ。転職・退職専念などの相談も可能。

講師への相談方法③

2022年12/12(月)短答後セミナー 今後のスケジュールとポイント 29

TAC会計士講座 就職サポート(相澤)【TAC生向け】

監査法人や会計事務所等への就活・転職以外にも、下記について相談可能。

- 一般事業会社への就活・転職
- 仕事を辞めて受験専念にするか
- 卒業後働きながら受験を継続するかどうか
- 受験対策を中断して就職する場合のエントリーシートの書き方等

フリーダイヤル 0120-527-699 (平日 14～17時)

メール counselor@tac-school.co.jp

※ 電話相談のほか、zoomを使ったオンラインでの相談も可能です。
メールで希望日時等ご連絡ください。

講義・教材の位置付け

【租税法 入門・上級講義】

- 入門 9 回 (法人税基礎①)
- 上級 1～8 回 所得税・消費税・法人税基礎②
- 上級 9～15 回 各税法応用論点
- 上級 16～18 回 理論部分 (5 月生は 5 月短答後)

【経営学 講義】

- ファイナンス部分 10 回
- 戦略論・組織論部分 4 月までに 4 回ほど・6 月中までに 3 回ほど
- ★5 月生は、ファイナンス部分 10 回か、テキスト①の 4 回目まで受講、もしくは 5 月短答以降に受講など。

論文対策講義 ★初年度生の場合…手続を行えば視聴可能。
インプット強化の関西管理・関西監査論など適宜活用。手が回っていなければアクセスと答練優先。)

【論文対策講義】(目的に合わせて適宜受講)

- 関東収録版:主にアウトプット強化のための過去問演習・解説など。財務計算は本年からテキストとの紐づきなど盛り込む。
通常の答練やアクセスが優先。租税は論文受験経験者向けの理論対策。
※特に財務理論は応用的な問題が多いため、テキスト優先。見るとしても、あくまで参考程度。
- 関西収録版:管理会計・監査論は、主にインプット強化。
論文の学習法・テキスト理解に悩んでいる受講生向け。

※論文対策講義について、詳しくは、各講義冒頭を受講。

- 【論文基礎答練】(★5 月短答生もできれば活用)
形式に慣れる。問いに素直に答える練習。

【論文応用・直前答練・全国模試】

- 時間配分の練習。
- 難易度の高い問題のうち、取るべき箇所の見極め。
- 部分点を取る練習。
- ※租税・経営は、応用答練から理論部分を出題。

【論文アクセス】(★財務・管理は 5 月短答生もぜひ活用する)

- [財務計算・管理(理論含む)・租税計算]

- 形式に慣れる。反復して復習。
- 取るべき箇所の見極め・メンテナンスに活用。
- 苦手な論点の強化に、難易度 A 部分を使う。

理論補強答練(4 月頃要手続・会計学基準集プレゼント有り)

※Web 論点別講義…上級生コースに付属 インプット強化のための講義。
財務理論全 87 時間、監査論 40 時間など。企業法はピンポイントで活用。

- 企業・租税・経営…通常の答練と同様の難易度・重要性。
- 財務理論・監査論
応用的・論点横断的な問題が多い。自習時の視点を新たにしたり、理解強化に活用。

財務・監査論は通常答練が優先。
5 月生は短答後、本試験までに
参考として使う。

12→8 生の強みと弱み(一般論)

強み

インプット面

◎短答科目全般について、テキストの網羅的な知識・理解を保持している。

自己判断で切っている論点が少ない。

特に理論科目について、比較的最近講義を受けているため、テキストの基礎的な知識有り。

◎手持ちの論文教材が必要十分・適切な量に絞られている。問題ベースの学習偏重とならない。

アウトプット面

◎論証暗記が当初不十分な分、応用的な理論問題でもチャレンジし、

自分なりの解答で部分点が狙う姿勢がある。

弱み

インプット面

△暗記すべき箇所や、基準集を頼る箇所等がまだ把握できていない。

△短答まで短答問題集ベースだった場合、テキストの体系的な理解が不足している(岡田講師・岡本講師論対や質問へ)。

△租税法・選択科目のインプット・アウトプット強化があるため、
他の科目の理解強化・講義受講・演習に時間が充て辛い。

△監査実務についてイメージし辛い。(→監査論は、岡田講師論文対策講義を受講ののち、適宜大橋講師版)

アウトプット面

△問題文の読み取り・答え方、試験中の時間配分等を把握できていない。

△教材の総量、どの時期にどれくらい忙しくなるかを体感できていない。(→2・3月、6月はハードと心積もりしておく)

短答前よりもテキストを大事に、3月末頃までを目途に理解強化。暗記すべき箇所把握。

併行して、答練・論文対策講義一部・テキストチェックゼミ視聴等を通じアウトプット力をさらに伸ばす。

論文リスタート生の強みと弱み(一般論)

強み

インプット面

★監査論は、必ず23テキストを使用。監基報番号記載あり。

- 暗記すべき箇所や、基準集を頼る箇所等が把握できている。→理論科目が安定
- 短答直後よりも体系的な理解が進んでいる。
- 租税法・選択科目のインプットがある程度進んでいるため、
他の科目の理解強化・講義受講・演習にも時間が充てられる。
- 就職活動を通じて、監査実務について少しイメージしやすくなっている。

アウトプット面

- 問題文の読み取り・答え方、試験中の時間配分等をある程度把握している。
- 教材の総量、どの時期にどれくらい忙しくなるかを体感している。→逆算できる

弱み

インプット面

- △ 短答合格直後に比して、テキストの網羅的な知識・理解は保持しにくい。
自己判断で切っている論点が多くなりがち。
特に理論科目について、テキストと大きく離れていると基礎的な概念が抜けがち。
- △ 過年度の答練が手許にあるため、
問題ベースの学習偏重となりテキストが手薄になりがち。

アウトプット面

- △ 論証暗記が比較的得意になる一方で、応用的な理論問題で空欄にしがち。



昨年よりもテキストを大事に、3月末頃までを目途に、各種講義を活用して理解強化。
併行して、答練・論文対策講義・テキストチェックゼミ等を通じアウトプット力をさらに伸ばす。

【 M E M O 】